

日本熱帯農業学会平成 27 年度総会ならびに第 117 回講演会

期 日 2015 年 3 月 14 日（土），15 日（日）
場 所 筑波大学（第二エリア総合研究棟 A および春日エリア春日講堂）
事務局 〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学生命環境系
 運営委員長 林 久喜
 運営委員 志水勝好，加藤盛夫，瀬古澤由彦，石川尚人
 E-mail: jstall17@trop-agri.jp
 Fax. : 029-853-6617

参加費および懇親会費

参加費：一般：5,000 円，学生：3,000 円（要旨集代含む）

懇親会費：一般：5,000 円，学生：3,000 円

発表者について 発表者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までに受け付けでご入会下さい。

受付 総合研究棟 A（3 月 14 日（土）9：30～），春日講堂（3 月 15 日（日）9：00～）

第 1 日 3 月 14 日（土）	第 1 会場 A110	第 2 会場 A111
10：15～11：45	研究発表（講演奇数番号 1～11）	研究発表（講演偶数番号 2～12）
12：45～15：45	研究発表（講演奇数番号 13～35）	研究発表（講演偶数番号 14～36）
16：00～17：00	ポスターセッション(A108)	
17：30～18：30	懇親会（第二エリア食堂）	

第 2 日 3 月 15 日（日）	春日キャンパス 春日講堂
9：00～9：30	総会
9：30～10：30	学会賞授賞式・受賞記念講演
10：30～17：15	WAT ナイルデルタプロジェクト（SATREPS）・日本熱帯農業学会共催 シンポジウム 熱帯農業における節水の可能性と課題 ～～SATREPS エジプトナイルデルタプロジェクト成果～～

日本熱帯農業学会第117回プログラム

第1日 3月14日(土) 研究発表(発表12分, 質疑応答3分)

開始時刻	座長	第1会場 (総合研究棟A110)	座長	第2会場 (総合研究棟A111)
10:15	倉内伸幸 (目大)	1. エジプトナイルデルタにおいて細溝灌漑がコムギとソラマメの根の生育と収量に及ぼす影響。*久保田亜希 ¹ ・佐藤文香 ² ・Yosri I. Atta ³ ・AhmedM. Abd El-Fattah ³ ・丸山幸夫 ¹ (1筑波大学生命環境系, 2筑波大学大学院生命環境科学研究科・3National Water Research Center, Egypt)	入江憲治 (東京農大)	2. アマランサスのイオンビーム照射M2集団におけるセシウム超吸収系統の選抜。根本和洋 ¹ ・*木下純 ² ・長谷純宏 ³ ・南 峰夫 ¹ ・松島憲一 ¹ (1信州大学大学院農学研究科, 2信州大学農学部, (独)原子力機構)
10:30		3. ガーナ熱帯雨林帯における耕起、作物残渣およびマメ科間作処理が害虫相とトウモロコシ収量に及ぼす効果。*中村 達 ¹ ・A. イブラヒム ² ・I. サンダ ² ・B. ハルナ ² ・大前 英 ¹ ・南雲不二男 ¹ (1国際農林水産業研究センター, 2 ガーナ作物研究所)		4. キヌアにおける顆粒性デンプン合成酵素遺伝子(GBSSI)の同定および発現解析。根本和洋 ¹ ・*小嶋紗英香 ² ・朴 永俊 ² ・西川智太郎 ³ ・南 峰夫 ¹ ・松島憲一 ¹ (1信州大学大学院農学研究科, 2 信州大学農学部, 3 農業生物資源研究所)
10:45		5. ミャンマー・シャン州北部における土地利用の実態—残存林に着目して。*四方 穉 ¹ ・河合真之 ¹ ・Abrar Juhar Mohammed ¹ ・小柳知代 ² ・井上 真 ¹ (1東京大学大学院農学生命科学研究科, 2東京学芸大学環境教育研究センター)		6. カンボジア西部地域におけるトウガラシ (<i>Capsicum</i> spp.) 遺伝資源の探索結果について。*松島憲一 ¹ ・松永 啓 ¹ ・田中克典 ² ・友岡憲彦 ³ ・高橋 有 ³ ・Simso Theavy ⁴ ・Seang Layheng ⁴ ・Ty Channa ⁴ (信州大学研究農系, 1農研機構野茶研, 2弘前大人文, 3生物研遺伝資源セ, 4CARDI, Cambodia)
11:00		7. Application of Multiple Research Methodologies for Improving Researchers Understanding and Farmers Consent: A Case of Introduction of New Inter-Cropping in Northern Namibia。*Mizuki Iida ¹ , Yoshiaki Nishikawa ² , Yuichiro Fujioka ³ , Kiyomi Kaida ⁴ , Toru Seki ⁵ , Benisiu Thomas ⁶ , Ottilie ShivoLo ⁶ , and Martha Hangula ⁶ (1 GSID, Nagoya Univ., 2 Fac. Econ., Ryukoku Univ., 3 Fac. Agric., Kinki Univ., 4 Overseas Consultant Dept., O.P.C. Corporation, 5 International Affairs Div., Nagaoka City Office, and 6 Fac. Agric. Nat. Res., Univ. Namibia)	8. QTL Analysis of Salt Tolerance in <i>Vigna vexillata</i> (Tuber cowpea)。*Rusama Marubodee ¹ , Madoka Okada ¹ , Takehisa Isemura ² , Eri Ogiso-Tanaka ² , Yu Takahashi ² , Ken Naito ² , Norihiko Tomooka ² and Hiroshi Ehara ¹ (1 Mie University, 2 NIAS Genetic Resources Center)	
11:15	根本和洋 (信州大)	9. ウガンダ陸稲圃場における長期連用施肥が土壌理化学性に及ぼす影響(続報) *花澤俊祐 ¹ ・松本俊輔 ¹ ・Simon Alibu ² ・Justin Ecaat ³ ・坪井達史 ³ ・八島未和 ¹ ・高垣美智子 ¹ ・菊池眞夫 ¹ ・犬伏和之 ¹ (1千葉大学大学院園芸学研究科, 2ウガンダ国立作物資源研究所, 3独立行政法人国際協力機構)	久保田亜希 (筑波大)	10. ラオス及び東北タイの天水田内のシロアリ塚がイネの生育と収量に与える影響 *宮川修一 ¹ ・田畑桃子 ¹ ・渡邊瑞貴 ¹ ・竹中千里 ² (岐阜大学応用生物科学部, 1岐阜大学大学院応用生物科学研究科・2名古屋大学大学院生命農学研究科)
11:30		11. 北部ラオス焼畑村落における換作物栽培導入後の陸稲栽培の重要性。 *亀田知佳 ¹ ・縄田栄治 (京都大学大学院農学研究科)		12. インドネシア西バプア州南ソロン県における野生サゴヤシの無機養分の吸収 _ *山本由徳 ¹ ・F.S. Rembon ² ・Y. Randongkir ³ ・吉田徹志 ¹ ・宮崎彰 ¹ ・H. Matanubun ³ (1高知大学農学部, 2ホルオレオ大学農学部, 3バプア州立大学農学部)

11:45	昼休み	
12:45	13. ベトナム北西部山岳地域ソララ市周辺の農村における営農体系の現状と問題点. 西村美彦 ¹ ・Hoang Van Thanh ² (1 タイバック大学農林学部JICA専門家, 2 タイバック大学農林学部)	14. 液肥のpHの違いが砂耕したパッションフルーツの果実品質に及ぼす影響. 南 圭輔 ¹ ・上田 憲 ¹ ・*近藤友大 ² ・樋口浩和 ¹ (1 京都大院農学研究科, 2 東京大院農学生命科学研究科)
13:00	15. Gender Approach in Agricultural Research: A Case of Gender-Based Division of Labor in Common Bean (<i>Phaseolus vulgaris</i> L.) Farming in Ethiopia. *Mizuki Iida ¹ , Yoshiaki Nishikawa ² , Kiyoshi Shiratori ³ , Dawit Alemu ⁴ , Rehima Mussema ⁴ and Fisseha Zegeye ⁴ (1. GSID, Nagoya Univ., 2. Fac. Econ., Ryukoku Univ., 3. Project for Enhancing Development and Dissemination of Agricultural Innovation through Farmers Research Groups, JICA and 4 Ethiopian Institute of Agricultural Research)	16. チェリモヤ花粉のデンプン蓄積に関する解剖学的観察および花粉発芽に及ぼす開花前夜の気温の影響. *松田大志 ¹ ・樋口浩和 ¹ ・緒方達志 ² (1 京都大学院農学研究科, 2 国際農研)
13:15	17. エチオピアにおけるテフのインフォーマル種子供給の持続性評価 I. オロミア州Dendi 地区の種子学校参加農民の事例. *根本和洋 ¹ ・西川芳昭 ² ・Tesfaye Gemechu ³ (1 信州大学院農, 2 龍谷大学経済学部, 3 Adami Tulu 農業研究センター)	18. マンゴー樹における接ぎ木部の水没と耐冠水性の関係. *佐伯 爽 ¹ ・岩崎直人 ² (1 明治大学大学院農学研究科, 2 明治大学農学部)
13:30	19. エチオピア南部デラシエ地域に居住する人びとによる穀物生産と消費. *砂野 唯 (京都大学農学研究科/京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)	20. 炭化物施用および遮光がヤトロファ実生苗の成長および水利用率におよぼす影響. *藪田 伸・富永 淳・川満芳信 (琉大農)
13:45	21. ブルキナファソにおける果樹の苗木生産に関する現状と課題 —在来果樹の「栽培化」に向けた取り組みを中心に— *福田聖子・渡辺守・白木秀太郎・宮崎良・松原英治 (JIRCAS農村開発領域)	22. 株出し時期が電照処理によるエريانサスの出穂遅延制御に及ぼす効果. *寺島義文 ¹ ・伊禮 信 ² ・Werapon Ponragdee ³ ・杉本 明 ⁴ ・高木洋子 ¹ (1 国際農林水産業研究センター, 2 沖縄県農業研究センター, 3 コンケン畑作物研究センター, 4 アサヒビール)
14:00	23. ブルキナファソ、スーダンサバンナ帯における耕起、作物残渣、およびマメ科間作処理がソルガム収量に及ぼす効果. * シンボレ サイド ¹ ・大前 英 ² ・南雲不二男 ² ・内田 諭 ¹ ・伊崎健大 ² ・バロ・アルベール ¹ (1 ブルキナファソ環境農業研究所 (INERA), 2国際農林水産業研究センター (JIRCAS))	24. 植物成長調節剤と短日の組み合わせ処理がトゲドコロ (<i>Dioscorea esculenta</i> Burk.) の生育に及ぼす影響. *松本麻衣子 ¹ ・朴 炳宰 ² ・遠城道雄 ¹ (1 鹿児島大学農学研究科, 2 鹿児島大学農学部)
14:15	25. ブルキナファソ、スーダンサバンナ帯におけるビジョンピーを組み込んだ保全農業導入の可能性評価. *南雲不二男 ¹ ・シンボレ サイド ² ・大前 英 ¹ ・内田 諭 ¹ ・伊崎健大 ¹ ・バロ アルベール ² (1 国際農林水産業研究センター (JIRCAS), 2ブルキナファソ環境農業研究所(INERA))	26. 鹿児島で栽培されるダイジョ (<i>Dioscorea alata</i> L.) 系統の形態特性と品質の評価. 箕田佐友里 ¹ ・*新小田あづさ ² ・遠城道雄 ¹ ・朴 炳宰 ² (1(株)タウンニュース, 2 鹿児島大学農学部)
14:30	27. Pesticide use on fruit plantations in Thailand: perspectives on the implementation of the GAP standard. *Javier Montano ¹ , Supamard Kanichsagdipathana ² , Hirokazu Higuchi ¹ and Eiji Nawata ¹ (1Graduate School Agriculture, Kyoto University, 2 Faculty of Agriculture, Kasetsart University)	28. ボタンボウフウ (<i>Peucedanum japonicum</i> Thunb.) の沖縄県内における分布. *高江洲賢文・砂川春樹・玉城盛俊・島袋朝子・大城 厚 (沖縄県農業研究センター)

小塩海平
(東京農大)

立石亮
(目大)

真田篤史
(東京農大)

バチヤキル
バビル
(東京農大)

14:15	29. ミクロネシア連邦ボンペイ州およびチューク州の小離島の居住区における食用植物調査。 *山本宗立 ¹ ・川西基博 ² ・西村 知 ³ (1 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター, 2 鹿児島大学教育学部, 3 鹿児島大学法文学部)		30. 沖縄県県内におけるサトウキビの品質の変動。 *出花幸之介・島袋正樹 ¹ (沖縄県農業研究センター, 1 沖縄県農作研究協会育種委員長)
15:00	31. インドネシアとタンザニアのホームガーデンにおける構成樹種の類似性。*高田華菜子 ¹ ・樋口浩和 ¹ ・田中 樹 ² ・池野 旬 ¹ (1 京都大学, 2 総合地球環境学研究所)		32. 飼料用サトウキビの沖縄島南部における生産力。 *出花幸之介・比屋根真一・崎間 浩・境垣内岳雄・服部育男 ¹ (沖縄県農業研究センター, 1九州沖縄農業研究センター)
15:15	33. Assessing the Rate of Annual Soil Loss under Upland Crop Cultivation System in the Mountainous Region of Sri Lanka. *Shantha HEWAGE ¹ , Kensuke OKADA ¹ , Taro TAKAHASHI ¹ and Manoj KODIKARA ² (1Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Japan 2Reg. Agricultural Research and Development Center, Department of Agriculture, Bandarawela, Sri Lanka)	浦山久 (海外農業開発協会) 菊野日出彦 (東京農大)	34. 沖縄における陸域での新たなサンゴ保全技術の開発。 *伊ヶ崎健大 ¹ ・大前 英 ¹ ・南雲不二男 ¹ ・岩井香泳子 ² ・小崎隆 ² (1 国際農研, 2 首都大院都市環境)
15:30	35. タイ北部山地部の傾斜地農業において作付体系が土壌浸食に及ぼす影響。 *北浦温子 ¹ ・矢内純太 ² ・中尾 淳 ² ・Sakda jangkeawattana ³ ・縄田栄治 ¹ (1 京都大学農学研究科, 2 京都府立大学農学研究科, 3 チェンマイ大学農学部)		36. 熱帯アブラヤシプランテーションにおける亜酸化窒素放出と微生物。 *大里晴菜・坂田ロスナエニ・吉岡 尚・吉岡 遼・島田周三・青木 博 ¹ ・坂本 淳 ¹ ・宇佐見俊行 ¹ ・犬伏和之 (千葉大学園芸学研究科, 1ジェイカムアグリ)
16:00	ポスターセッション(A108)		
17:30	懇親会 (第二エリア食堂)		

第2日 3月15日(日) 筑波大学春日講堂

9:00	総会, 学会賞受章式および受賞記念講演
10:30 ~17: 15	WAT ナイルデルタプロジェクト (SATREPS) ・日本熱帯農業学会共催シンポジウム 熱帯農業における節水の可能性と課題 ~~~SATREPS エジプトナイルデルタプロジェクト成果~~~

ポスターセッション(A108)

- P1. エジプトにおけるトウモロコシ-ダイズ間作がその生育, 光合成および収量に及ぼす影響. *佐々木 めぐみ¹・宮崎裕貴¹・志水勝好²・KoranyAbdel-GAWAD³・Sayed AhmedSAFINA³ (1筑波大学生命環境学群生物資源学類・2筑波大学生命環境系・3カイロ大学)
- P2. 参加型研究により開発された営農技術のインパクト評価-JICA-エチオピア農業研究機構 技術協力「農民研究グループを通じた適正技術開発・普及プロジェクト(FRG IIプロジェクト)」を事例として-。竹田進吾¹・瀬尾 逞¹・Dawit Alemu¹・白鳥 清志¹・西川芳昭^{1,2}, *天目石慎二郎³ (1FRG II プロジェクト・2 龍谷大学経済学部・3JICA 農村開発部)
- P3. ミャンマー・イラワジデルタのマングローブ村落における生業と社会経済変容:ピャポン県オウツポ・クウィンジャウン村における事例研究. 岡田アレキサンダー夏樹 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
- P4. ブルキナファソ天水稲作における低品位リン鉱石の直接施用効果. *中村智史¹・Simpore Saidou²・

- Albert Barro²・Daminga Jonas²・南雲不二男¹ (1 国際農林水産業研究センター・2 ブルキナファソ国立農業研究所)
- P5. ケニア西部における異なる圃場管理方法が土壌水分収支および陸稲の生産性に及ぼす影響. *榎原大悟¹・Harun O. Ogindo²・John C. Onyango²・浅沼修一¹・山内 章³ (1名古屋大学農学国際教育協力研究センター・2マセノ大学, 3名古屋大学大学院生命農学研究科)
- P6. ケニアの異なる圃場水管理条件下におけるイネの生育反応の品種間差異. *菊田真由実¹・John Kimani²・榎原大悟³ (1 名古屋大学大学院生命農学研究科・2 ケニア農畜産業研究機構, 3 名古屋大学農学国際教育協力研究センター)
- P7. インド東部ジャールカンド州ムンダ村落のラック生産と産米林景観. *竹田晋也¹・宮川修一² (1京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・2岐阜大農)
- P8. GIS を用いたタイ中部畑作地帯における作付体系動態の解析. *砂野 唯¹・下野祐依²・小阪花梨²・Pornchai Mankong³・縄田栄治⁴ (1 京都大学農学研究科/アジア・アフリカ地域研究研究科・2 京都大学農学部・3 コンケン大学農学部・4 京都大学農学研究科)・・・87
- P9. Growth Rate of Sago Palm Seedlings at Different Aluminum Concentrations In Culture Media. Preuk CHUTIMANUKUL¹, Takayuki INAGAKI¹, Yuko OTSUKA¹, Hitoshi NAITO² and Hiroshi EHARA¹(1 Mie University, 2 Kurashiki University of Science and The Arts)・・・89
- P10. Status of Potato (*Solanum tuberosum*) Production in Fiji *Tekini G. Nakidakida and Hisayoshi Hayashi (University of Tsukuba)
- P11. Farmers Perceptions of Soil Degradation in Kalaw Township, Southern Shan State, Myanmar. *Yi Swe Aye¹, Han Phyo Aung², Kimura Sonoko Dorothea³ and Oikawa Yosei³ (1Grad. Sch. of Agric., Tokyo Univ. of Agric. & Tech.; 2United Grad. Sch. of Agric., TUAT; 3Inst. of Agric., TUAT)
- P12. ブラジル・アマゾン地域における有用植物の資源管理ートメアスー・アグロフォレストリ農家を事例として. * 入江憲治¹・松山耕太郎¹・八須友磨¹・真田篤史¹・佐藤孝吉²・板垣啓四郎¹・志和地弘信¹・Adriano Marlison Leão de Sousa³ (1東京農業大学国際食料情報学部・2 地域環境科学部・3 アマゾン農業大学)
- P13. ブラジル・アマゾン地域におけるアグロフォレストリの新展開 ～トメアスーを事例として～ *板垣啓四郎¹・八須友磨¹・松山耕太郎¹・入江憲治¹・真田篤史¹・佐藤孝吉²・志和地弘信¹・A. M. L. de Sousa³ (1 東京農業大学国際農業開発学科・2 東京農業大学森林総合科学科・3アマゾン農業大学)
- P14. ブラジル・アマゾン地域のアグロフォレストリを構成する有用樹木とその林内環境 ～トメアスーにおける1事例～ *真田篤史¹・八須友磨¹・松山耕太郎¹・入江憲治¹・板垣啓四郎¹・佐藤孝吉²・志和地弘信¹・A. M. L. de Sousa³ (1 東京農業大学国際農業開発学科・2 東京農業大学森林総合科学科・3アマゾン農業大学)
- P15. 灌水量の違いがモリンガ (*Moringa oleifera*) の生育に及ぼす影響 *真田篤史・三平豪綱・小塩海平・高橋久光 (東京農業大学国際農業開発学科)
- P16. イネ半矮性同質遺伝子系統の稈長および節間長に対する外生ジベレリンの作用. *入江憲治・竹部宏明・小塩海平・志和地弘信 (東京農業大学国際食料情報学部)
- P17. ガーナ、ブルキナファソにおける保全農業普及へ向けての取り組み (第2報) 作付け、耕起、残さ施用の違いがトウモロコシ及びササゲ等の生育、収量や雑草の生育に及ぼす影響. 大前 英¹・Ronald Nuhu Issaka²・Albert Barro³・James M. Kombiok⁴・Simpore Saidou³・Joseph A. Ali²・Mohammed M. Buri²・*南雲不二男¹ (*1国際農林水産業研究センター・2ガーナ土壌研究所・3ブルキナファソ国立環境・農業研究所・4サバンナ農業研究所)
- P18. ガーナ、ブルキナファソにおける保全農業普及へ向けての取り組み (第3報) マニュアル式不耕起播種器の開発と性能評価. Patterson Osei Bonsu¹・Robert Owusu Bio²・大前 英³・*南雲不二男³ (1 ガーナ作物研究所・2 クマシ技術機関・3 国際農林水産業研究センター)
- P19. ガーナ内陸低湿地の水田水利施設補強対策に適用する被覆植物の植生管理. *團 晴行¹・沖 陽子²・廣内 慎司¹ (1 国際農研・2 岡山大)